

# 平成30年度佐賀環境フォーラム実績報告

## 1 実施体制

佐賀大学、学生スタッフ、市民スタッフ、佐賀市で構成する実行委員会形式

## 2 受講等

(1) 受講要件 高校生以上

(2) 受講料 (年間：※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 1口 5,000円 ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 1講義につき 500円
- ◇ スポット受講者(学生) : 1講義につき 200円

(3) 参加者数 ※[参考：昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 17名 [12名]      ◇ 佐大生 : 50名 [40名]
- ◇ 法人 : 3社 [3社]      ◇ スポット : 60名 [60名]

## 3 事業概要

(1) 講義

期間 : 平成30年5月15日(火)から平成30年7月12日(木)まで(全12回)

時間 : 午後6時30分から午後8時30分まで(※質疑応答含む)

会場 : 佐賀大学教養教育2号館2101番教室

回	講義内容	所属等	講師名	参加者数				
				一般	佐大生	法人	スポット	合計
1	環境問題概論、フォーラム概要説明	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長 えこいく、ちゃりさがさいせい、食品ロス、温暖化防止ネット、さが環境推進センター、元気勇気活気の会	兒玉 宏樹 氏	16	39	4	3	62
2	SDGsの波が佐賀にもやってくる～カードゲームで2030年をシミュレーション～	くろめ協働CASE PJ コーディネーター/ 2030SDGs公認ファシリテーター	廣岡 睦 氏	15	38	3	14	70
3	あなたは光害(こうがい)を知っていますか?	一般社団法人 佐賀天文協会 会長	副島 勉 氏	10	37	3	3	53
4	リデュースとリユース～参加型のごみ減量方策～	NPO地域環境デザイン研究所ecotone 代表理事/ 一般社団法人 祇園祭ごみゼロ大作戦 理事長	太田 航平 氏	13	36	3	3	55
5	風力発電は海へ向かう	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 教授	石田 茂資 氏	11	45	3	7	66
6	ホテル保全の考え方と方法	東京ゲンジボタル研究所 代表	古河 義仁 氏	11	41	3	9	64
7	身近な自然とのかかわり	玉川大学名誉教授/日本櫻学会会長/自然環境復元協会理事長/樹木医	石川 晶生 氏	15	41	3	6	65
8	熱の目で都市を見てみる	佐賀大学 理工学部 准教授	中大窪 千晶 氏	13	39	3	4	59
9	里山イニシアティブとSDGs	佐賀大学全学教育機構 教授	五十嵐 勉 氏	13	39	4	4	60
10	事業者の省エネ対策と環境認証取得事業者の取り組み	株式会社シグマ 省エネ推進営業開発リーダー 兼唐津営業所所長/環境カウンセラー(事業所部門)/エコアクション21審査員	池上 敏昭 氏	12	41	2	1	56
11	インフラ整備と木材利用	佐賀大学 理工学部 准教授	末次 大輔 氏	7	40	3	3	53
12	気候変動の農業影響と適応	国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員	飯泉 仁之直 氏	14	39	2	3	58

## (2) 体験講座

### 1) 環境学習会

【日時】平成30年6月23日(土)

【目的】自然や環境について理解することで、自然環境を守り、育むという環境保全意識を増進することを目的としている。

【内容】佐賀市三瀬村にて、過疎化による環境問題(主に竹害)について学び、講師の指導のもと、実際に竹林の整理を行った。

### 2) ごみ探検隊

【日時】平成30年6月30日(土)

【目的】ごみの分別やごみ処理過程について体験することで3Rや循環型社会の基礎を学び、ごみの減量化に努める環境マインドを養うことを目的としている。

【内容】佐賀市清掃工場に訪問しごみ処理過程の見学を行った後、佐賀市のごみ分別表を参考にカードを使ったごみの分別体験を行った。

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	スタッフ	計
ごみ探検隊	8 ( 7 )	38 (14)	23 (14)	69 (35)
環境学習会	1 ( 2 )	31 (15)	6 ( 6 )	38 (23)
計	9 ( 9 )	69 (29)	29 (20)	107 (58)

## (3) 現地見学会

【日時】平成30年8月11日(土)

【内容】佐賀市下水浄化センターを訪問し、佐賀市下水浄化センターの環境の取り組みについて講義を聞いた後、消化ガス発電設備、汚泥堆肥化施設、下水処理施設の見学を行った。

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

	一般	学生	スタッフ	計
参加者数	3 ( 4 )	31 (16)	7 ( 4 )	41 (24)

## (4) ワークショップ (WS)

### 1) グループWS

①環境教育班 (8名)

②チャリツーリズム班 (7名)

③フードロス班 (9名)

【スケジュール】

研究成果発表会

1月27日(日) 研究成果の発表

### ◇主な研究内容と研究成果

#### ①環境教育班

【内容】子どもたちに身近な環境について知ってもらうため、保育園や幼稚園を訪問し、紙芝居やゲームを通して環境教育を実施する。

【成果】例年実施している西与賀キッズクラブ、鈴虫の音楽会や1day合宿などに加え、今年度から荏原環境プラント「第1回e-さが基金」の助成を受けSDGsに関する小中学生向けのイベントを夏休みに開催し、そこから1day合宿に繋げるなど参加者増のための取り組みを行った。

## ②チャリツーリズム班

【内容】佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光（エコツーリズム）の確立と自転車利用の促進を目的として、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

【成果】佐賀大学に放置されている自転車の回収、修理をし、修理した自転車を佐賀インターナショナルバルーンフェスタでレンタサイクルとして貸し出しを実施した。その際に行ったアンケートを活用し、紙ベースでのマップの必要性や今後の利用促進における課題の検討を行った。

## ③フードロス班

【内容】フードロスの現状を学習するとともに、生産・小売・消費など様々な側面からフードロスの原因や対策について研究する。

【成果】今年度から発足したワークショップであったことから、佐賀市循環型社会推進課の出前講座を実施しフードロスについてメンバー内で共通認識を図った後、1年間の活動計画を作成。アスパラ農家やスーパーへの訪問、環境フェスティバルでの個人の意識調査など、生産・小売・消費それぞれの段階でのフードロスの現状について調査し、削減のための考察を行った。

## 2) インターンシップ型WS

### 【派遣の法人】

- ① 温暖化防止ネット（7名）
- ② さが環境推進センター（6名）
- ③ 三気の会（6名）

### 【スケジュール】

研究成果発表会 1月27日（日） 研究成果の発表

## ◇主な活動内容と活動成果

### ①温暖化防止ネット

【内容】燃料電池車試乗会業務や環境出前講座など、省エネ活動の普及啓発に取り組んでいる。また、環境保全活動等に取り組む市民、団体等の取り組みをPRする機会づくりとして、さが環境フェスティバルなどのイベントを開催している。

【成果】県内各地で行われた燃料電池自動車の試乗会、森林公園での「さが環境フェスティバル」など、地球温暖化対策の啓発イベントに従事した。燃料電池自動車試乗会に従事するにあたって、燃料電池自動車の仕組みについて学習を行った。

### ②さが環境推進センター

【内容】環境問題等に取り組んでいる団体、事業所と連携をしながら、まちづくり地域活性化を推進していくことを目的に活動している。また、ごみ減量、資源の有効利用に関する情報の発信、リユース品の販売、エコマーケットや体験イベント等を開催している。

【成果】エコプラザでのイベントでは石鹸作りや糸つむぎ、ぼかし作りや包丁研ぎに従事し、物を大切にすることについて参加者へ啓発した。

### ③元気・勇気・活気の会「三気の会」

【内容】自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。有機農業の田植えから収穫までを体験することができる「ほんなもんぼ体験学校」では、子どもと保護者、大学生といった幅広い年齢層の方々が参加している。

【成果】「ほんなもんぼ体験学校」へ参加し、地域の方と協力して農作業を行った。サツマイモ

や里芋等の無農薬栽培をとおして、環境や食の安全について学ぶことができた。また、伝統農法の「ごみくい」を行い、外来種駆除と在来種の保全に取り組んだ。

## (5) イベント

### ○第47回佐賀城下栄の国祭り「きてみん祭ビッグパレード」

きてみん祭ビッグパレードへ参加し、佐賀環境フォーラムのPRを行うとともに、環境にやさしい行動の実践を呼びかけた。

日 時：平成30年8月5日（日）13：30～14：00

場 所：シンボルロード（佐賀銀行～バルーンミュージアム前）

参加人数：約80人

### ○平成打ち水夏の陣2018

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、環境に配慮する意識を向上してもらうきっかけとした。また、市民から提供を受けた浴衣を参加者（外国人）にプレゼントをし、リユースの取り次ぎをした。

日 時：平成30年8月5日（日）

16：00～16：30 環境教育班による環境紙芝居上演

16：30～17：00 打ち水

場 所：佐賀商工ビル駐車場

参加人数：約60人

### ○2018さが環境フェスティバル

日 時：平成30年10月13日（土）、14日（日）10：00～16：00

場 所：佐賀県立森林公園

#### ①学生スタッフ

竹細工体験、ペットボトルキャップ回収ゲーム機、パネル展示を実施。

#### ②環境教育班

環境紙芝居の上演、チリメンモンスター教室、ゴミ分別ゲームを実施。

#### ③フードロス班

パネル展示、賞味期限・消費期限を見分けるゲーム、アンケート調査を実施。

### ○河川清掃

大学周辺の自治会と協力し、大学内およびその周辺の河川清掃を行った。

#### ①春の河川清掃

日 時：平成30年4月22日（日）

場 所：佐賀大学、佐賀大前自治会、しらげ地区自治会内河川

#### ②秋の河川清掃

日 時：平成30年10月28日（日）

場 所：佐賀大学、佐賀大前自治会、しらげ地区自治会内河川

### ○三気の会 ごみくい

三気の会が主催するごみくいに参加し、ゴミ拾い・クリーク底泥上げ・生物調査および外来種駆除・ふるまいを実施。

日 時：平成30年11月11日（日）

場 所：北川副公民館、および北川副地区のクリーク及び田圃

(6) 終講式

【日 時】平成31年1月27日(日) 15:20~15:30

【修了者数】①一般 12名(17名中) ②法人 3社(3社中)

(7) インターンシップ制度を活用した学生スタッフの単位認定について

学生スタッフとして従事する学生は佐賀市環境政策課へのインターンシップとして今年度より取り扱うこととし、3名の学生が学生スタッフとして従事した。